

# any

ars nova yamaguchi

「エニー」

winter 2009  
Jan.—Mar.

# 67



## ダンス魔法のキッチンポツプで

特集 珍しいキノコ舞踊団×plaplaX 滞在制作

ダンス公演「The Rainy Table」

特集

03 ポップでキュートな魔法じかけのダンス

珍しいキノコ舞踊団 × plaplax 滞在制作  
ダンス公演「The Rainy Table」

ピックアップイベント

08 冬をもっとホットに過ごす

山口情報芸術センター

「ミニマム インターフェース」展  
みて! さわって! アートをたのしもう

柄本明 ひとり芝居「風のセールスマン」  
あなたの街にやってくる! 風のセールスマン

中原中也記念館

企画展Ⅲ「中也の兄弟たち」  
中也に繋がる5つの人生

常設テーマ展示「哀悼の詩—愛するものが死んだ時には—  
愛するものの死。その時ひとは何を思う。」

山口市民会館

前進座「龍の子太郎」

母を訪ねる旅で、太郎が出会ったものとは…?

「三枝成彰・辰巳琢郎の宝くじおしゃべり音楽館」  
映画音楽やポップスなどの名曲を軽快なトークとともに

12 any通信

- ◎アーティストボイス おおたか静流 (音楽家)
- ◎お先に試写しました 「やじきた道中 てれすこ」
- ◎いただきます 生ソーセージと栗のトマトソースパゲッティー  
(「トラットリア・アンコーラ」)
- ◎GOOD GOODS 「ordinaries (オーディナリーズ)」(YCAMポストカード 01)
- ◎My Favorite 福田百合子 (中原中也記念館館長)

14 イベントカレンダー 1~3月  
INFORMATION



ダンス  
魔法じかけの  
キュートな  
ポップで

珍しいキノコ舞踊団 × plaplax

普段の何気ない感覚や気持ちをキュートなダンスで表現する“珍しいキノコ舞踊団”と、身近な道具とメディア技術を組み合わせ、五感や想像力を刺激するアート作品を発表する“plaplax”。この2組が初めて共同で舞台作品に挑みます。彼らの魔法がかかったポップでキュート、不思議なダンスの冒険に、さあ、出発です!

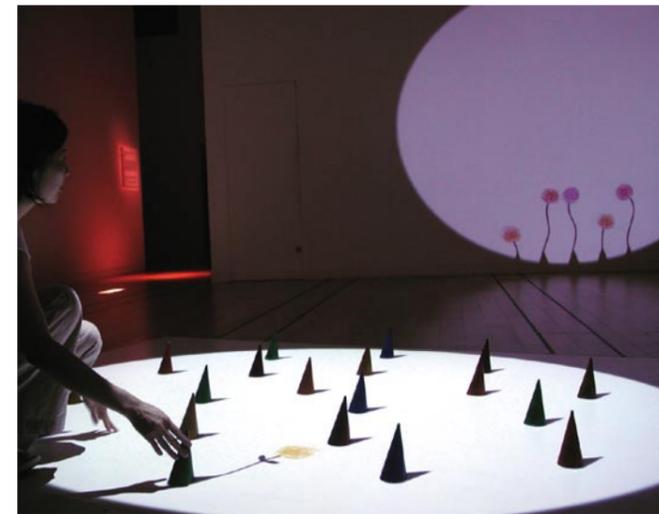
写真上: 珍しいキノコ舞踊団「3mmくらいズレる部屋」(2006)  
photo: 片岡陽太 下: plaplax「murmur sky」(2007) 辻哲郎との共同制作 photo: 太田拓実 (写真提供: NTT インターコミュニケーションセンター [ICC])



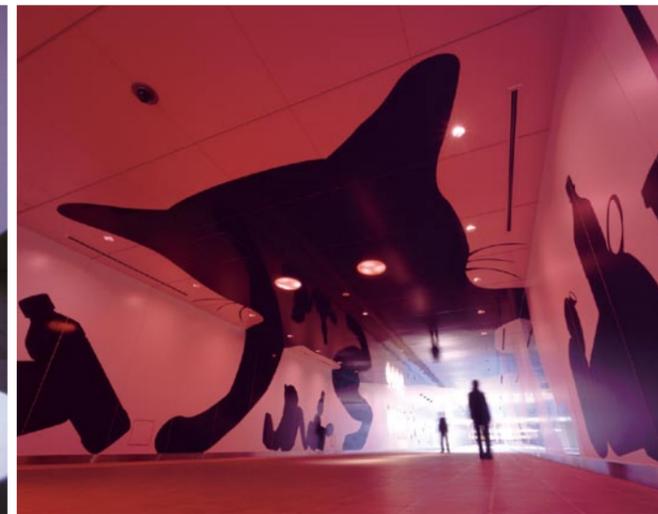
珍しいキノコ舞踊団「フリル(ミニ)ワイルド」  
原美術館(2002) photo: Namaiki



珍しいキノコ舞踊団「FLOWER PICKING」  
びわ湖ホール(2003)



近森 基++久納鏡子「KAGE」  
(1997, 2007年再制作)



近森 基++久納鏡子「A Tale of Stray Kittens —異世界旅行猫絵図—」  
(2007) photo:Tani Hirofumi

ダンスカンパニー珍しいキノコ舞踊団と、アートグループplaplastaxが、約1か月にわたる山口情報芸術センター(YCAM)での滞在制作を経て、この冬発表する新作ダンス公演「The Rainy Table」。「雨の中のテーブル」という印象的なシーンから始まるこの旅物語は、YCAMがこれまで取り組んできた「アートとメディアと身体表現」の新たな可能性へとつながっています。

# 珍しいキノコ舞踊団 × plaplastax

## オリジナル作品が生まれる場所

山口情報芸術センター(YCAM)では、既存の優れた作品を紹介するだけでなく、アーティストが3週間から1か月にわたって山口に滞在し、オリジナルの作品を制作・公開する「滞在制作」を行っています。これまでも、アクロバティックな身体能力を持つフランス人ダンサー、ジャン＝パティスト・アンドレが、音楽・映像というジャンルの異なる2人のアーティストとともに制作した「HIDDEN FACES / FACES CACHÉS / 隠された面」(2005)や、LED照明、振動子、音、映像、ダンスといった各分野で注目のアーティストがYCAMに集結し、メディア技術と身体表現の融合に挑んだ「true / 本当のこと」

(2007)など、数々の作品がYCAMで誕生しました。それらの作品は、国内はもちろん、アジア、ヨーロッパ、アメリカなどの海外へも紹介され、世界的な評価を得ています。常に刺激的なオリジナル作品が生み出される場所、YCAM。今回は「同時代のダンスをもっと楽しんでほしい」という思いから珍しいキノコ舞踊団とplaplastaxによる滞在制作公演を企画。ダンス、アートそれぞれの分野で注目されるアーティスト2組が、山口で出会い、作品をともに制作し、発表します。

## 珍しいキノコ舞踊団 × plaplastax 初めての挑戦

日常の中のダンスを捉えることで今の時代を生きる「女の子」のリアルを表現し、

人気を集める珍しいキノコ舞踊団。感覚や気持ちまでも自然に表現した彼女たちのダンスは、多くの人に心地よさを与えてきました。また、美術館の中庭、カフェ、オフィスなど、劇場を飛び出での上演や、ダンスの途中に挟まれるおしゃべりや歌など型破りで楽しい演出も魅力の一つ。そんな彼女たちが今回挑戦するのが最先端のメディア技術による映像を取り込んだダンス作品。珍しいキノコ舞踊団の全作品および今回の新作においても演出・振付・構成を担当する伊藤千枝は、「普段は、ダンスに、照明や音楽、舞台美術を絡ませますが、今回はさらに映像が加わることでダンスがどう変わるのか試してみたい」と話します。聞けば、以前からYCAMでの滞在制作を希望していたのだから。今回は、そんな珍しいキノコ舞踊団の「夢」がいっぱい詰まった作品が

展開します。一方、スプーンや時計などの日用品を使ったオブジェに触れると、その影から動物や飛行機などのアニメーションが動き出すなど、ポエティックなアート作品を発表してきたplaplastax。メディア技術を駆使しながらも身近な要素を取り入れたぬくもりのある作品は、国内外で子どもから大人まで多くの人に親しまれています。作品展示のみならず、商業スペースやイベント等での空間演出や映像コンテンツ、プロダクトデザインなど活躍の幅が広い彼らですが、本格的な舞台制作は今回が初めて。「舞台という制限された空間の中で、世界が変容していく様をいかにして表現できるのかチャレンジしたい」という彼ら。「珍しいキノコ舞踊団のパフォーマンスは、身体の動きは美しいうえにユーモアにあふ

れていて、その世界に違和感なく入ることができる親しみやすさに特別な魅力を感じる」と語り、「今まで誰も見たことがない『珍しいダンス』とコラボレーションするのを楽しみにしている」とのこと。現実とイメージをつなぎながら新しい知覚体験と空間を作り出すplaplastaxが、ダンサーというリアルな身体と向き合い、映像と舞台美術で新たな世界を描き出します。

## 日常の隙間から広がる魔法の世界への旅

「キーワードは魔法」と語る伊藤千枝。彼女の頭に広がる「魔法の世界」のイメージを、plaplastaxが現実の舞台空間へと落とし込んでいきます。2組に共通するのは、いずれも「日常」ととらえ、そこから見えてくるファンタジーや驚きを、遊び心を

もって表現していること。今回彼らが共同で制作するダンス作品はそんな日常の隙間から広がる「旅」がテーマ。ダンサーに絡む映像や美術が、私たちを不思議な旅へと誘います。さらに、音楽には、細野晴臣、鈴木重美、夏木マリなど、様々なアーティストのプロデュースをするほか、リミックス、CM、TV、ゲーム音楽等も手掛けるバンドBuffalo Daughterのメンバーである大野由美子が参加し、本作のために新曲を書き下ろします。同じく本作のために新たに作られるスタイリッシュな衣装も要チェック。ダンス、メディア技術、音楽、衣裳など、魅力的なアーティストの相互作用がどのような世界を生み出すのか? ポップでキュート、夢がいっぱい詰まったわくわくするような冒険に、あなたもお出かけください。



◎今あらためてみると、本当にメッセージの強い物語ですね。今の時代だからこそ心に響きました。(30代男性「ミュージカル『サウンドオブミュージック』より」)  
◎終演後、クツの音、横の人のカバンの音、全ての音が演奏なのではという感傷に陥り、こんなにも自分の周りの「音」に敏感になった事は今までありません。まだ演奏の続きのような不思議な感覚です。(20代女性「大友良英 / ENSEMBLES」展ライブ「Networks」より)  
◎中也自身ではなく、人それぞれの内面の呼び声の様に思えてならない。自分もそういう所がある。(50代男性「美と痛み—大和保男の陶と中原中也」より)



◎大人は普段どうしているかについて教育について考えているかを知る機会を持って良かったと思っています。話を聞いている途中何度も「こうしてほしい!」という高校生の主張を訴えたいくなる場面もありました。(10代女性「YCAM5周年記念シンポジウム」より)  
◎仕掛けのないところにもドキドキしてみたり、何気ない風景も切り取った1枚の絵のように感じたりしました。知らない3人組で知らない街を歩くというのは私にとっても貴重な体験になりました。(20代女性「山口市営PJ」より)

## 珍しいキノコ舞踊団

90年結成。様々な角度から「ダンス」を捉え、その作品の発表を通してオリジナリティの確立を目指すダンスカンパニー。劇場空間以外での公演も積極的に行っており、いろいろな空間で浮かび上がるダンスを観客とともに体験し、楽しむことをテーマとしている。

Strange Kinoko Dance Co.



photo: David Duval-Smith

伊藤千枝 Ito Chie

珍しいキノコ舞踊団主宰。全作品の演出・振付・構成を担当。「ドレミノテレビ」(NHK教育、2003-04)、映画「めがね」(07)、UA「黄金の緑」(07)など、映画・テレビ・ミュージックビデオの振付といった舞台作品にとどまらない活動も行う。



珍しいキノコ舞踊団「家まで歩いてく。」  
彩の国さいたま芸術劇場(2005) photo: 片岡隆太



plaplax「hanahana」  
(2006)



plaplax (プラプラックス)

メディアアートユニット minim++ (ミニムプラプラ)として活動していた近森基、久納鏡子に寛康明が加わり、02年から活動を開始。04年、有限会社plaplaxを設立。影絵や積み木、絵本など、子どもの遊びや玩具をモチーフにしたインタラクティブな作品制作をはじめ、大学との共同研究、公共空間・商業施設の空間演出など幅広く活躍している。



# 珍しいキノコ舞踊団 × plaplax

もっと教えて！ 珍しいキノコ舞踊団の魅力

## キノコの魔力

時々、何かをおもい出させてくれる「しぐさ」や「からだ」に出会って、はっとしたりすることがある。それはがらんとしたバスの中での、おばちゃんの椅子のすわり方だったり、若い小鹿みたいな少女の首だったり、自分の小指が意外と小さいことに気づいて「成長っていったい何？」とか気づかされたり。懐かしさを生む奇妙なずれ。

今までずいぶん何回も「珍しいキノコ舞踊団」の作品を見てきたけれど、僕は、何かを思い出させてくれたり、あるいは、未知のお菓子をたべた時みたいな、知ってるようで、知らない感じを味わいたくて出かけて行くんだなあとと思う。

彼女たちのダンスをよく、女の子たちのカワイラシサ、みたいなことでうっとりとする人もいるし、逆に、ハードコアのダンスマニアは、「ダンスじゃない」と言ったりもする。僕は正直、「もっといいもんなんだよ」と、そんな人に言ってあげたいと思う。

まず、「珍しいキノコ舞踊団」ほど、「ダンス」にまじめな集団はいない。だからといって、アスリート系な身体でも、空気投機的な東洋系身体を追い求めているのでもない。サブカル的なストーリーテリングとも違う。確かに彼女たちが「出現させよう」として世界は、うたかたの夢に似てもあるが、決して

後藤繁雄 (編集者・クリエイティブディレクター)

儂い弱いものではない。はっきり言えば、新しい身体言語の絶えざる発明熱なのだ。それも、見逃されがちな「しぐさ」や「からだ」が知っている懐かしさに基づいたものだと思う。「可能性」という未来へ向かう感覚が、懐かしさを生むのである。これはとても魅力的な創作の回路だ。それに、どの作品のセットも魅力的だし、選曲もワクワクさせてくれる。いつも期待を、いい意味で裏切ってくれて、帰り道にニッコリさせてくれたり、スカッとさせてくれたりする。

さあ、みなさん「珍しいキノコ」を味わって、その魔力にやられちゃいませうぜ。



珍しいキノコ舞踊団「珍しいキノコ図鑑」(2008) photo: 片岡隆太



後藤繁雄 Goto Shigeo

1954年、大阪府生まれ。編集者、クリエイティブディレクター、京都造形芸術大学教授。「独特編集」をモットーに、写真集、アートブックを数多く制作。また、「エスカイア日本版」[high fashion]などでアーティストインタビューを行なうほか、アート・アワード・トーキョー (A.A.T.)コミティ、magical, ARTROOMのスーパーバイザーを務めるなど、コンテンポラリーアートの動向に深く関わる。2008年7月、東京・恵比寿のアートコンプレックスNADiff A/P/A/R/T(2F)に、写真とグラフィック専門のギャラリー-G/Pをオープン(http://gptokyo.jp)。自身がディレクターを務める。

もっと教えて！ plaplaxの魅力

## 影を操る魔法使いたち

飯沢耕太郎 (写真評論家)

plaplaxの近森基さんと久納鏡子さんの作品を初めて見たのは、「KAGE」(1997)だったのだろうか、それとも東京都写真美術館で展示された「Tool's Life」(2001)だったのだろうか。作品の一部に触れると、その影が別のものに變化したり動き出したりする。そんな子供時代に読んだ魔法使いの話のような出来事が、実際に目の前で展開されているのがとても楽しく、印象深かった。

その後近森さん、久納さんとは、福音館書店の「たぐさんのふしぎ」シリーズの一冊として刊行された「ぼくのかげをさがして」で一緒にお仕事させていただいた。自分の影をなくしてしまった少年が、「影の町」に迷いこんで不思議な経験をするストーリーを私が書き、お二人がイラストや写真を使ってヴィジュアル化した絵本である。幸いにもとても好評で、2005年には韓国語版も出版されている。

彼らの作品世界の魅力は、コンピュータによるデジタル合成などの現代的な技法を駆使しているにもかかわらず、どこか温かみや手触りを感じさせてくれることだろう。「KAGE」も「Tool's Life」も、その魔術的な空間の中に入り込むきっかけは、「さわる」ということである。現代社会ではどうしても視覚的な世界が肥大化しがちなのだが、彼らはその中で「影」

という想像力を強く刺戟するツールを使いこなしながら、嗅覚や触覚も含めた全身感覚を活性化しようとしているように思える。そこにあらわれている「影」は作り物であり、実体ではないはずなのに、われわれのイマジネーションの中では生々しい身体感覚が生じてくるのだ。

今回、plaplaxと「珍しいキノコ舞踊団」とのコラボレーションが実現することを知り、とても楽しみにしている。コンテンポラリーダンスという「生の」身体イメージと、plaplaxの「影」の世界がどんなふう融合し、観客にどんな魔法をかけてくれるのか、彼らの作品世界がさらに大きく広がっていくことが期待できそうだ。



近森基++久納鏡子「Tool's Life」(2001)



飯沢耕太郎 Iizawa Kotaro

1954年、宮城県生まれ。77年、日本大学芸術学部写真学科卒業。84年、筑波大学大学院芸術学専攻修士課程修了。90～94年、季刊写真誌「deja-vu」を編集長として発行。主な著書に「荒木!」(白水社)、「写真美術館へようこそ」(講談社現代新書)、「私写真論」(筑摩書房)、「アフリカのおくりもの」(福音館書店)、「写真とことば」(集英社新書)、「危ない写真集246」(ステューディオ・パラポリカ)、「ジャパニーズ・フォトグラファーズ」(白水社)、「荒木本!」(美術出版社)、「世界のキノコ切手」(ブチグラフィック)、「戦後写真史ノート」(岩波現代文庫)、「きのこ文学大全」(平凡社新書)など。

## PRESENT

珍しいキノコ舞踊団・plaplaxの関連グッズやダンス公演のチケットをプレゼントします。

【申込方法】ご希望の方は下記のプレゼント番号を明記の上、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、1月30日(金)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailでご応募ください。

A「The Rainy Table」公演チケット  
(各日へA1組) ※ご希望の公演日をお選びください。

B Tシャツ(1名)  
珍しいキノコ舞踊団オリジナルTシャツ。  
コットン100%、YOUTH XLサイズ(成人女性のMサイズ)



C トートバッグ(1名)  
珍しいキノコ舞踊団オリジナルトートバッグ。  
30cm×35cmマチ付、キャンバス生地



D カタログ  
「motoshi chikamori ++ kyoko kunoh」(1名) ※サイン入り  
plaplaxメンバー近森基と久納鏡子によるユニットの作品を中心としたDVD付カタログ。



【あて先】〒753-0075 山口市中園町7-7 (財)山口市文化振興財団

「any vol.67 特集プレゼント」係  
FAX:083-901-2216 e-mail: any@yfcpc.or.jp  
※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

# 冬を過す

A
B
C
D

- A. 前進座「龍の子太郎」
- B. 柄本明 ひとり芝居「風のセールスマン」
- C. 「ミニマム インターフェース」展
- D. 「中也の兄弟たち」 写真: 中也と弟・亜部



寒い冬の到来。温かい食べ物や衣服に幸せを感じる季節です。この冬は、五感をくすぐるアート展示に、「中也の弟たち」や「死」をテーマにじっくり考える展覧会、家族で楽しめる心温まるコンサートやお芝居など、体から頭・心まで暖かくしてくれる

たくさんイベントを用意しました。家に閉じこもっていないで、頭と心を刺激して、いつもよりホットな冬を過ごしてみたいかがでしよう？

## 山口情報芸術センター (YCAM)

http://www.ycam.jp/

山口情報芸術センター開館5周年記念事業

### 「ミニマム インターフェース」展

開催中～2009年2月8日(日) 12:00～19:00 (土・日・祝は10:00～)

会場: ホワイエ、スタジオB ほか

※会期中、関連ワークショップ、ギャラリートークあり。詳細はお問い合わせください。

### みて! さわって! アートをたのしもう



現在、山口情報芸術センターではアートやデザインの視点からインターフェースの多様性を紹介する「ミニマム インターフェース」展を開催中。「インターフェース」には何かと何かをつなぐ境界という意味があります。本展覧会では国内外8組のアーティストが参加し、映像・写真・建築オブジェ・プロダクトデザインといったジャンルから、身体感覚に直接うったえかける作品を展示し、私たちの身体を別の世界へとつなげてくれる様々なインターフェースを紹介しています。卓上でいくつものオブジェを自由に動かし、音と映像を操作する電子音楽「reacTable(リアクテブル)」や、観客の動きや音に反応し、生物のように伸び縮みし色が変わる建築オブジェなど、不思議な体験ができるものばかり。今回はチラシにもしかけがあり、16個の穴のあいた白いチラシを、会場のテーブルに置いてみると…。いったい何が起きるのかは、展覧会に来た人だけが

知っています。楽しみたい方はぜひYCAMへ!

ターフェースを紹介しています。卓上でいくつものオブジェを自由に動かし、音と映像を操作する電子音楽「reacTable(リアクテブル)」や、観客の動きや音に反応し、生物のように伸び縮みし色が変わる建築オブジェなど、不思議な体験ができるものばかり。今回はチラシにもしかけがあり、16個の穴のあいた白いチラシを、会場のテーブルに置いてみると…。いったい何が起きるのかは、展覧会に来た人だけが知っています。楽しみたい方はぜひYCAMへ!

#### わたしはココに注目する!

照明や映像を使った作品が多いので、日が落ちると、より一層ホワイエに展示された作品たちがくっきりと浮かび上がり、館内を華やかに彩ります。昼間とは違う雰囲気をもつ夜の展覧会場にも足を運んでみてください。

料金 | 無料

[参加作家] セルジ・ジョルダ、マルティン・カルテンブルネル、ギュンター・ガイガー、マルコス・アロンソ  
久保田晃弘 / LEADING EDGE DESIGN / ザカリー・リーバーマン、テオドア・ワトソン  
ダーン・ローズガールデ / SHINCHIKA / クリス・サグリユ / 高尾俊介

## 柄本明 ひとり芝居「風のセールスマン」

2009年3月18日(水) 19:00開演

会場: スタジオA

### あなたの街にやってくる! 風のセールスマン



TV・映画・舞台と多くの表現の場において独特の存在感を放つ柄本明。今回彼が演じるのは、風に飛ばされる紙くずのように街から街へと渡り歩くセールスマン。商品を売りさばく為には悪戦苦闘する男をコミカルに演じます。

そんな柄本さんに以前セールスマンをされていた頃のことをお聞きすると、「大きな精密機器の営業をしていましたが、僕は運良かった

のか苦勞せず売れましてね。でもセールスマンって外に出られるでしょ。だからさばれる。ここだけの話、最後の方はよく映画をみていました(笑)」とのこと。かつてのやり手?セールスマンだった柄本さんからどのようなセールスマンが生まれるのか…。今まさに、心身ともに円熟した時期を迎えた柄本明の生の舞台をお楽しみください。

#### わたしはココに注目する!

日本を代表する劇作家・別役実が書き下ろした初のひとり芝居。柄本さんは「別役さんは僕の中で別格的存在」と言うほど別役作品が大好きで、座長を務める劇団東京乾電池の舞台でもよく上演しているそうです。

チケット情報 | any会員先行予約 1月10日(土)～

一般発売 1月17日(土)～

料金 | 全席指定 前売 一般 3,500円 any会員/特別割引 3,000円  
当日 4,000円

[出演] 柄本明 [脚本] 別役実

- 特別割引: 青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。
- いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。
- 特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
- 特に記載のない場合、未就学時入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

### 教育普及



YCAMの教育普及スタッフの仕事は、アートの展示ではギャラリートークを行い、作品鑑賞の手引きをしたり、珍しいタイプの舞台公演をするときは、茶話会式のレクチャーで鑑賞のポイントを紹介したりと、様々な方法でYCAMの作品を観客に近づける手助けをしています。それに加えて独自の視点と発想で、オリジナルワークショップを開発し、新しい教育普及メニューを生み出しています。チーフの会田さんは、教育普及は、手の届かない場所にあると思われがちなアートをもっと身近な存在に近づけること、鑑賞者とYCAMとの間に立ち、その両者をつなぐ役割を担っていると考えています。そんな教育普及の活動にこれからもご注目ください!

## 旅するYCAM

コーポラ・イン・サイト  
Corpora in Si(gh)te



YCAMで制作された作品は、海外の展覧会に招待され、様々な国を巡っているものがあります。今回ご紹介するのは、2007年秋にYCAMで制作したdoubleNegatives Architectureによる「Corpora in Si(gh)te」。気温や天候、風向きといった周辺環境情報をリアルタイムに取り込み、まるで生物のように生成変化していくヴァーチャルな建築を視覚化した作品です。08年9～11月に開催された世界最大の建築フェスティバル「ヴェネチア・ビエンナーレ」(イタリア)において、なんとハンガリー代表に選出。メンバーの1人がハンガリー人で、同国のキュレーターからの高い評価が今回の出展につながりました。今後も、ベルリン等へ巡回予定。旅はまだ続きます。

## 中原中也記念館

http://www.chuyakan.jp/

企画展Ⅲ

### 「中也の兄弟たち」

開催中～2009年4月19日(日)

### 中也に繋がる5つの人生

中原医院の子供たちは男ばかりの6人兄弟。長男・中也を筆頭に、次男・亜郎(通称・あろう)、三男・恰三、四男・思郎、五男・呉郎、六男・拾郎と続きます。中也のすぐ下の弟・亜郎、恰三の2人は、中也が生きている間に若くして亡くなり、中也に大きな衝撃を与えました。

一方、その下に続く思郎、呉郎、拾郎の3人は、中也よりも長く生き、ジャーナリストとして、医師として、音楽家としてそれぞれに長く活躍します。また、特に思郎は後年、中也研究に力を注ぎ、「兄・中原中也」の思い出を若い中也ファンのために語り続けました。

本企画展では、中也と弟たちとの関係、また詩人「中原中也」の弟であると同時に、それぞれの道を模索し生き抜いた3人の弟たちの業績をご紹介します。



左から時計回りに呉郎、中也、拾郎、恰三、思郎(大正10年頃)

#### わたしはココに注目する!

中也以下、二、三、四…と単純なようであるが、ひとひねりされている兄弟たちの名前。その名のとおり、中原兄弟はみな個性的です。そんな彼らが中也をどのように意識していたのか、展覧会に来て探ってみてください。

料金 一般 310円(262円) / 大学生 210円(157円) / 小中高校生 150円(105円)  
※70才以上は無料 ※( )内は20人以上団体料金

常設テーマ展示

### 「哀悼の詩—愛するものが死んだ時には」

2009年2月18日(水)～2010年2月7日(日)

### 愛するものの死。その時ひとは何を思う。



文也と遊ぶ中也(昭和10年頃)

哀悼とは人の死を悼み哀しむことですが、中也の詩にとって、それはとても重要な意味を持っています。私たちは生きていく中で、様々なかたちで他者の死と向き合います。中也も、7歳にして次弟の亜郎を失って以来、様々な人々の死に直面しましたが、彼は、他者の死がもたらす喪失感を、詩人として作品に昇華していきます。それらの詩は、私たちの心の奥底を揺り動かし、深い感銘を与えます。展示の副題「愛するものが死んだ時には」は、中也の詩「春日狂想」の一節ですが、次に続く言葉は、哀悼の究極といっても過言ではありません。

この展示では、中也が身近な人々の死をどのように受け止め、そこから、どのような詩が生み出されたのかを中心にご紹介します。

#### わたしはココに注目する!

「冬の長門峡」の草稿は、中也には珍しく、毛筆で書かれています。なぜ毛筆で? そこには、昭和11年、長男文也の早すぎた死との深い関わりがあるのです。真相は展示を見てお確かめください。

料金 一般 310円(262円) / 大学生 210円(157円) / 小中高校生 150円(105円)  
※70才以上は無料 ※( )内は20人以上団体料金

## 検定 中 也



Q 中也の弟たちはみな、あなにおとうとの区別をせず、お互いを「しろちゃん(思郎)」、「ごろちゃん(呉郎)」とちゃん付けて呼び合っていたそうです。中也も小さい頃は、周りの大人たちに「ちゅうちゃん」と呼ばれていました。弟たちは中也だけは例外的に「ちゅうちゃん」とは呼びませんでした。では、弟たちは長兄・中也のことをなんと呼んでいたのでしょうか?

- 1 中也兄様(ちゅうやにいさま)
- 2 中也さん
- 3 ちゅうちゃん

答えは14ページ



### 「中原中也を読む会」

毎月第4金曜日  
13:30～15:00  
会場:山口情報芸術センター  
または中原中也記念館  
※詳しくはお問い合わせください。

「中原中也を読む会」をご存知でしょうか?月に一度集まって、みんなで中也の詩を読みましょ、という会です。ここでは、皆黙って読んで、おのおのが詩の世界に浸る、ということではなく(それはそれでちょっと面白いかも知れませんが…)、読んで感想を話し合ったり、時には、その詩から思い出した体験談が出たりもします。また、記念館職員からは、難しい言葉の解説や、その詩が制作された背景、中也の他の作品との比較などのお話もします。飛び入り参加歓迎!ぜひお気軽にご参加ください。皆で読み、語りあうことで見えてくる何かがあるはずですよ。

観 覧 聴 取  
ビ ン ナ イ  
の !

◎正直、あまり期待していなかったのですが、あまりにもよく出来ていて感動です。主役のマリアの歌声が胸に響いてはくしなげにうるウルしっぱなしです。(30代女性 ミュージカル「サウンド オブ ミュージック」より)  
◎タイミングよくタクシーがきたり休憩できたり見張られている感じにドキドキしました。アーケードの上を初めて歩いて楽しかったです。(30代女性 「山口市営PJ」より)  
◎どれも切り口が違ってそれぞれ面白く聴けました。場所の力学がうまく使われているなどと思いました。(30代女性 「大友良英 / ENSEMBLES」展ライブ「Networks」より)

## 山口市民会館

http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/

文化庁・NPO法人子どもステーション山口共催

### 前進座「龍の子太郎」

2009年2月13日(金) 18:30開演

会場:大ホール

### 母を訪ねる旅で、太郎が出会ったものとは…?

児童文学作家・松谷みよ子が民話から想を得た「龍の子太郎」が、その力強さ、温かさ、そしてファンタジー性をそのままに前進座によって舞台化されました。太郎の母親は、太郎を身ごもっている時、貧しさゆえの空腹から村の掟を破ってイワナを食べてしまい、龍になって遠くへ行ってしまう。山奥の村で仲良しのあやや動物たちと毎日無邪気に遊んで暮らしていた太郎ですが、赤鬼、黒鬼からあやを救ったことをきっかけに龍になった母を訪ねる旅が始まります。



歌舞伎や時代劇を得意とする前進座は、踊りや所作に日本の伝統的な様式を取り入れて、はっとするような艶やかでダイナミックな舞台を繰り広げます。勇気・希望・友情・親子の愛などいくつものテーマを持ちながら、子どもから大人までたっぷり楽しめる、美しく感動的な作品です。

#### わたしはココに注目する!

民話の持つ土くさく温かさ、そして歴史ある前進座のメリハリの利いた伝統的で美しい所作は、日ごろ現代劇やミュージカルを見慣れている私たちにとって、新鮮な驚きを与えてくれます。

チケット情報 発売中

料金 全席指定(税込) 前売 一般 3,000円 any会員 2,500円  
※4歳以上有料 当日 3,500円

[原作] 松谷みよ子 [脚本] 山本響子 [演出] 鈴木龍男 [出演] 池田舞美、松浦豊和、横澤寛美、北澤知奈美 ほか

### 「三枝成彰・辰巳琢郎の宝くじおしゃべり音楽館」

2009年3月14日(土) 15:00開演

会場:大ホール

### 映画音楽やポップスなどの名曲を軽快なトークとともに



作曲家・編曲家としてテレビ音楽や映画音楽など多数手がける三枝成彰と、俳優として舞台やテレビCMへの出演、執筆活動など多方面で活躍する辰巳琢郎を司会に迎え、2部構成で行うオーケストラのコンサート。1990年に創立し、定期演奏会のほか、名曲コンサート、オペラ・バレエとの共演、音楽鑑賞教室など幅広い活躍で注目を集める東京ニューシティ管弦楽

の出演、執筆活動など多方面で活躍する辰巳琢郎を司会に迎え、2部構成で行うオーケストラのコンサート。1990年に創立し、定期演奏会のほか、名曲コンサート、オペラ・バレエとの共演、音楽鑑賞教室など幅広い活躍で注目を集める東京ニューシティ管弦楽

#### わたしはココに注目する!

去る11月23日に同会館で行われたミュージカル「サウンド オブ ミュージック」で登場した曲もメドレーで演奏されます。しかもトランプ大佐役の辰巳琢郎さんが再び山口に。彼のウイットに富んだトークもお楽しみに!

チケット情報 一般発売 1月17日(土)～

料金 全席指定(税込) 前売 一般 2,500円 高校生以下 1,500円  
※当日券は各500円高 ※宝くじの助成により、特別料金となっております。

[出演] 三枝成彰・辰巳琢郎(司会)、国府弘子(ピアノ)、塩田美奈子(ソプラノ)、東京ニューシティ管弦楽団(演奏)

[曲目] 「サウンド オブ ミュージック」メドレー、「踊り明かそう」(「マイ・フェア・レディ」より)、「ラブソング・イン・ブルー」、ビートルズメドレー ほか



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

■いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。  
■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。  
■特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

## ホールに おいでませ

「山口ジュニアオーケストラ」  
(第36回市民コンサート)

2009年3月20日(金・祝)

時間未定

会場:山口市民会館 大ホール



毎年、各種音楽コンクールにおいて優秀な成績を収めた方々の名演

奏がもう一度味わえる「市民コンサート」。1974(昭和49)年の初演以来、市民の皆様が親しまれています。そしてこのトリを飾るのが「山口ジュニアオーケストラ」。市内の中・高校生で編成されたオーケストラで、20回目の「市民コンサート」を記念して結成されました。毎年、総勢約100名による迫力ある演奏で観客に感動を与えています。また参加する生徒たちにとってもフルオーケストラの中で演奏出来るのが大きな喜びとなっています。今年にはエルガーの「威風堂々」、ヨハン・シュトラウスのワルツ「春の声」などの難しい曲目に取り組みます。彼らのびやかで表情豊かな演奏に今期待ください。(山口ジュニアオーケストラ)

[料金] 無料

### バックステージへようこそ



1971(昭和46)年に開館した山口市民会館。80年から常駐スタッフとして勤務し、同会館を見守ってきた舞台技術

の寺田英男さんは、「開館したての頃は、1,500人もお客が入る会場は県内にほとんどなくてね、美空ひばり、郷ひろみ、サザンオールスターズなど大物が次々と山口にやって来たよ。一方で尾崎豊や浜田省吾なんかは、まだ客が少なくて最初は小ホールからスタート。その中でも勢いのある歌手は舞台袖にいて身震いがしたものと、当時の様子を振り返ります。また70～80年代のアイドルファンは熱狂的。ファンが出口に殺到したため、近藤真彦は舞台袖から秘密地通路を通り、外に脱出したとか。長く市民に愛され、山口の文化を支えてきた山口市民会館に、これからも様々な歴史と思い出が刻み込まれることでしょう。

# any通信

空を見上げると、雲ひとつなく月が輝く夜。  
凜とした澄み渡る空気に、  
つくづく冬を感じます。



いつもご来場  
ありがとうございます。

中原中也記念館の入館者数が2008年9月  
で50万人を達成しました！50万人目の入  
館者は、福岡の大学生の方。観光旅行で立  
ち寄られたのだとか。「中也の詩集は読んだ  
ことはあるが、生い立ちなどあまりよく知ら  
ないので、しっかり展示を見て帰りたい」と  
いうことでした。

翌月には、山口情報芸術センターの入館者  
が400万人に！併設されている市立中央図



書館に来られた山  
口市在住の親子  
が400万人目  
のお客様。たくさ  
んの記者にマイクを  
向けられて恥ずか  
しがっているお子  
さんの姿がとって  
も印象的でした。  
これからもみなさんのご来場をお待ちして  
います。



選ばれました！公共建築賞

400万人目の入館者達成に興奮冷めやらぬ  
中、新たなニュースが飛び込んで来ました。  
なんと、優れた公共建築に対して贈られる  
公共建築賞の文化施設部門で、山口情報芸

術センターが最優秀賞を受賞したという  
ではありませんか。波形の屋根が周辺の山並  
みとマッチしていることや、地方都市で先  
鋭的・国際的な芸術活動の場を提供してい  
ること、子どもたちの積極的なアートへの参  
加などが評価されたとのこと。建物だけで  
はなくこれまでやってきた活動も認められ  
たのだと嬉しくなりました。しかも同賞の受  
賞は県内初！これからも受賞を励みにがん  
ばります。



## ARTIST VOICE

アーティスト  
ボイス

おおたか静流 (音楽家)

2007年春、中原中也生誕100年祭のコンサートで、中也の詩にのせてすばらしい歌声を披露して  
くれたおおたか静流さん。昔から中也とは不思議なご縁を感じ、長いお付き合いなのだとか。100年  
の時を超えて運命的に惹かれあう2人の縁はまだまだ続きます。おおたかさん、音楽家として感じ  
る中也の魅力を教えてください！

中也の詩の中に、音楽の真実が潜んでいる



最初に湯田温泉に行ったのは、1987年の  
夏で、猛暑だったのを覚えています。その  
後も中也が好きで何度も訪れ、行く度に少  
しずつ接近しつつ、でもまさか自分が中也  
を歌う日が来ようとは夢にも思ってませ  
んでした。中也記念館で、彼が好きだった  
「庭の千草」を歌う機会があり、今は大切な

レパートリーになっていますし、「汚れつち  
まつた悲しみに」は、テレビで作曲し歌  
う機会を得ました。2007年、生誕100年  
祭では、友部正人さんと一緒にしましたが、  
サーカス小屋なので「美しき天然」を歌お  
うと、盛り上がったものです。

中也は100年の歳月をかけて、愉快的歌  
旅を提案しては、反応が飛び火していくの  
を面白がっているように思えます。彼の世  
界に触れていると、もつれた毛糸玉を解き  
ほぐすように、自分の中で絡まった言葉と  
音符が、あやしい距離を保ちながら遊び始  
めます。それは彼の詩の中に、音楽の真実  
が潜んでいるからなのでしょう。

中原中也生誕100年祭  
「サーカス小屋でコンサート」  
2007年4月29日～5月6日  
会場：山口市中央公園横仮設テント

山口の地に生まれ育った夭折の詩人、中原中也。生  
誕100年を記念して行われた事業の一つで、中也の  
詩「サーカス」をモチーフに作られた仮設のサーカス  
小屋で、様々なアーティストによるコンサートを開  
催。おおたか静流のほかに、友部正人、矢野顕子、ハ  
ナレグミ、あがた森魚などが山口を訪れ、生誕100年  
祭を盛り上げた。

おおたか静流 OHTAKA Sizzle

東京都在住。七色の声を自由に操る無国籍、ノンジャンルの  
シンガー&ボイス・アーティスト。踊ったり、様々な声を出すな  
ど全身を使ったワークショップを行う  
「声のお絵描き」を主宰し、またNHK教育  
テレビ「にほんごであそぼ」に出演す  
るなど多方面で活躍中。イスタンブール  
(トルコ)で録音したCD「Serenade」  
を08年12月にリリース。また同月には  
バリの日本文化会館にて「中也のうた  
日本の古いうた」と題したコンサートに  
出演。フランスで歌を通じて中也の詩  
の魅力を紹介する。



お先に  
試写  
しまし  
た

柄本明 ひとり芝居「風のセールスマン」  
関連上映  
「やじきた道中 てれすこ」

(2007年/日本/138分/カラー)

歌舞伎役者・中村勘三郎、個性派・柄本明。  
そして、近年、映画への出演が増えている  
小泉今日子。この3人の共演が面白くな  
らないわけがなかった…。

3月に上映する「やじきた道中 てれすこ」  
は、弥次さん(中村勘三郎)と喜多さん(柄本  
明)、売れっ子花魁(小泉今日子)の珍道中を  
“落語”のエピソードを盛り込みながら描く。

日本が誇る古典芸能“落語”は、やはり極上  
のエンタテインメントであり、下手に盛り込む  
と失速する恐れもあるので(笑わせようとし  
ているのは分かるのだが、笑えない映画程、  
辛辣なものはない)、監督の演出力、脚本の  
力(落語のエピソードをそのまま入れたので  
は意味がない)もさることながら、役者の力  
量に大きくまかせられるところでもあるだ  
ろう。果たして、どうなることかという疑い  
も杞憂にすぎないことに数分で気づく。

落語のエピソードだけでなく、その他の  
ちょっとしたおかしな間(ま)や表情からこ  
み上げてくる笑いは、まさに老若男女共通  
のもの。それもそのはず、主演の3人だけ  
なく、藤山直美や笹野高史といった芸達者

も、どうなることかという疑い  
も杞憂にすぎないことに数分で気づく。  
落語のエピソードだけでなく、その他の  
ちょっとしたおかしな間(ま)や表情からこ  
み上げてくる笑いは、まさに老若男女共通  
のもの。それもそのはず、主演の3人だけ  
なく、藤山直美や笹野高史といった芸達者

も、どうなることかという疑い  
も杞憂にすぎないことに数分で気づく。  
落語のエピソードだけでなく、その他の  
ちょっとしたおかしな間(ま)や表情からこ  
み上げてくる笑いは、まさに老若男女共通  
のもの。それもそのはず、主演の3人だけ  
なく、藤山直美や笹野高史といった芸達者



配給：松竹

たちから、吉川晃司と鈴木蘭々という異色  
キャストイングまで、様々な意味での一癖  
も二癖もある役者が勢揃いし、数々のコワ  
ザを披露。そして、笑っているうちに、迎え  
るエンドロール…。まさしく正統派人情喜  
劇の縮図をそこにみたような気がした。

松富淑香 (YCAM シネマ担当)

2009年3月6日(金) 13:30～/19:00～  
7日(土) 13:30～/17:00～  
8日(日) 13:30～/17:00～  
会場：山口情報芸術センター スタジオC

[料金] 一般 1,000円 any会員/学生 800円  
ジュニア(18歳未満)/シニア(65歳以上)  
障がい者/介護の同行者1名 500円

[監督] 平山秀幸  
[出演] 中村勘三郎、柄本明、小泉今日子、ほか

柄本明 ひとり芝居  
「風のセールスマン」

2009年3月18日(水)  
19:00開演  
会場：山口情報芸術センター  
スタジオA

※本誌P9参照



My Favorite

靴底に伝わる感触が、何となく柔らかいような不安  
定なような。記念館横入り口に敷かれた山口線の  
元・枕木の腐蝕具合と、その黒いタールの染み具合  
が、いつも「気をつけて、気をつけて」と、私に声を  
かけてくれるのです。

福田百合子 (中原中也記念館館長)



福田百合子

いただきます



生ソーセージと栗の  
トマトソーススパゲッティ  
800円(税込)

※セット(前菜、パン、ドリンク付)は1,200円

イタリアのマンマの味を召し上げられ。

秋から冬にかけて旬の「栗」。今回はイタリア産  
の栗がゴロゴロと入った細麺パスタをいただき  
ました。う〜ん、栗とトマトソースって意外や  
意外、絶妙に合うんですね〜。にんにくの効い  
たトマトソースに香ばしくてほんのり甘みのある  
イタリア栗が入ると、まろやかで深い味わいに。  
そこに粗挽きソーセージがピリッとアクセントを  
きかせ最後までフォークが止まりません。このレ  
シピは、イタリアのマンマ(イタリア語で母さん)  
の味で、栗の季節になるとみんな食べたいくな  
るんだとか。お店では日本人のマンマがいつも元  
気に出迎えてくれます。

「トラットリア・アンコーラ」

山口市中国町7-7(山口情報芸術センター内)  
TEL.083-934-5070  
営業時間：11:00～20:00 火曜休み

GOOD GOODS



YCAM ポストカード01

「Ordinaries」(オーディナリーズ)

かわいいキャラクターたちが  
人気のポストカードです。

山口情報芸術センターで2004年4～6月に展示  
された、アーティスト山口レイコによるアニメ  
ーション作品「Ordinaries」。アニメーションには、花  
や傘、モグラや虫などいくつものキャラクターが  
登場し、それぞれを主人公にした小さなストー  
リーを展開。話のつながりがランダムに変わっていき、  
何気ない日常を営むキャラクターたちの世界は、  
主人公になったり、背景になったりしながら、他の  
キャラクターたちとのつながりのなかで、広が  
っていきます。このアニメーションのワンカットをお  
さめたポストカードを販売中。お求めは山口情報  
芸術センター1階事務所あるいはネット(<http://www.ycam.jp/>の「ショップ」)をご覧ください。

価格：500円(税込) ポストカード(10枚セット)  
103×148mm(定型)/フルカラー  
アーティスト：山口レイコ

観覧  
聴いた  
あなた  
の！

◎初めて来ました！また来たいです。企画もとても興味深く、全然中也のことを知らなかったので人間自身にも興味が高まりました。  
本当はどろくさい人間なんです。字が美しい！(30代女性「美と痛み一大和保男の陶と中原中也」より)  
◎素晴らしいです。音と音楽の間を行ったり来たりしながら、全身の力が抜けて、ふわんとリラックスしたひと時でした。  
(30代女性「大友良英/ENSEMBLES」展ライブ「Networks」より)

観覧  
聴いた  
あなた  
の！

◎アーティストックで先進的だけどもなぜか暖かい音でした。(20代女性「大友良英/ENSEMBLES」展ライブ「Networks」より)  
◎大和先生と斎藤先生との対談はとても有意義で楽しかったです。80代女性 公開対談「美と痛み一大和保男の陶と中原中也」より)  
◎自分は大学生で「教育」というものに大きく関わっている年齢だと思っております。自分の中で色々考えるきっかけになりました。(10代女性「YCAM5周年記念シンポジウム」より)  
◎普段何気なく通っている商店街の知らなかったところが見えたりして不思議な感覚です。(20代女性「山口市営P」より)

### 1 January

### 2 February

### 3 March

掲載内容は2008年12月1日現在のものです。変更の場合がありますので、ご了承ください。

山口情報芸術センター (YCAM) http://www.ycam.jp/	アート	<b>開催中</b> 「ミニマム インターフェース」展 (本誌P9参照) ※1/17・18・31、2/1・7・8 ギャラリーツアーあり 4 5 「ミニマム インターフェース」展 関連ワークショップ1 「ハンドメイド マウス」 10 11 「ミニマム インターフェース」展 関連ワークショップ2 17 18 「ミニマム インターフェース」展 関連ワークショップ2 「感覚アスレチックワークショップ」	8			
	シアター				28 1 珍しいキノコ舞踊団 × plaplax 滞在制作 ダンス公演「The Rainy Table」(本誌P3~7参照) ※2/14・15・22 バックステージツアーあり	18 柄本 明 ひとり芝居 「風のセールスマン」(本誌P9参照)
	シネマ	9 12 山口未公開日本映画特集 「夕映え少女」「トウキョウソナタ」「キッズ・リターン」 ※1/10 「夕映え少女」参加監督トークあり	23 25 山口未公開日本映画特集 「短編作品上映」「UN loved」「接吻」 ※1/24 万田邦敏監督トークあり	6 8 山口未公開日本映画特集 「シェイディー・グローヴ」「月の砂漠」「こおろぎ」 ※2/7 青山真治監督トークあり	21 22 珍しいキノコ舞踊団 × plaplax 「The Rainy Table」関連映画 「めがね」(本誌P6参照)	6 8 柄本 明 「風のセールスマン」関連映画 「やじきた道中 てれすこ」(本誌P13参照)
山口市民会館 http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/		16 18 山口未公開日本映画特集 「CURE」「アカルイミライ」「曖昧な未来、黒沢清」「叫」	30 1 山口未公開日本映画特集 「どこまでもいこう」「害虫」「おかえり」「忘れられぬ人々」	11 15 山口未公開日本映画特集 「かぶりつき人生」「青春の蹉跎」「宵待草」「恋文」「離婚しない女」「棒の哀しみ」		
中原中也記念館 http://www.chuyakan.jp/	<b>開催中</b> 企画展Ⅲ「中也の兄弟たち」(本誌P10参照)			13 前進座 「龍の子太郎」(本誌P11参照)	14 「三枝成彰・辰巳琢郎の 宝くじおしゃべり音楽館」(本誌P11参照)	20 「第36回 市民コンサート」(本誌P11参照)
	<b>開催中</b> 常設テーマ展示「友情—君と僕との命はかゝり」			15	18	常設テーマ展示「哀悼の詩—愛するものが死んだ時には」(本誌P10参照)

## INFORMATION

### ■公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団が主催・共催する公演チケットは以下の方法にてご予約・ご購入ください。

#### 予約方法

**インターネット** 山口市文化振興財団ホームページ (要事前登録・24時間受付)

<http://www.ycfcp.or.jp/>

※any会員の方は先行予約初日の10:00より、一般の方はプレイガイド発売日の10:00より受付開始。



#### 電話

チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

**TEL. 083-920-6111**

#### 窓口

チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

### 山口情報芸術センター

※先行予約初日はインターネットまたはお電話のみの受付となり、窓口のご利用は翌日からとなります。

#### 支払方法

**クレジットカード** インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

チケットのお受け取りはお近くのセブンイレブンまたは山口情報芸術センターにお越しください。

#### セブンイレブン

インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受け取りください。

#### 窓口

※上記予約方法「窓口」参照

### ■託児サービスについて

山口市文化振興財団では託児サービスを行っています。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。お子様の食事は事前に済ませておいてください。

#### 公演開催時

[対象] 0才(6ヶ月)以上

[料金] 1人につき500円、  
2人目以降は1人につき300円

[時間] 開演の30分前から終演後30分まで

[申込方法] 公演日の1週間前までに左記チケットインフォメーションまたは山口情報芸術センターにてお申し込みください。

※公演によっては行わない場合もございます。事前にお問い合わせください。

#### 山口情報芸術センター キッズスペース

[対象] 1才以上

[料金] 1人につき30分150円

[時間] 13:00~17:00 1回2時間まで (山口市立中央図書館休館日を除く)

[申込方法] 当日、山口情報芸術センターにてお申し込みください。満員の際は順番制となります。

## any 会員募集!

※入会方法等、詳しくはお問い合わせください。

any会員は、山口情報芸術センターや山口市民会館などで行われる財団主催・共催の公演や展示、ワークショップ等の情報をいち早くお知らせし、楽しんでいただくための友の会です。公演のチケットが一般の方よりも安く、早く購入できるなどの特典があります。

[年会費] 1,500円+入会金500円 ※会員期間内に更新される場合、入会金は不要です。

[会員期間] 入会日から翌年の入会月末まで

[会員特典] チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもあります)、情報誌の無料送付、YCAMシネマ・中原中也記念館招待券プレゼントなど



財団法人 **山口市文化振興財団**  
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion  
〒753-0075 山口市中園町7-7(山口情報芸術センター内)  
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216  
http://www.ycfcp.or.jp/ zaidan-info@ycfcp.or.jp

### 編集後記

今回、柄本明さんに電話インタビューする機会があり、とても丁寧に答えていただきました。ユニークな回答と話し方が面白いのなんの。ついで、電話口で大笑いしてしまいました。3月、お待ちしております。[M.M] プレゼントの応募でみなさんがいろいろ感想をくださるのがとても励みになっています。前号ではNY在住の日本人の方から、帰国時に山口へ来られて本誌を手にとられたというメールをいただきました。NYからの熱い応援メールに胸がじ〜ん。[M.D]

#### A 中原中也記念館

〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21  
TEL. 083-932-6430 / FAX. 083-932-6431  
[開館時間] 9:00~18:00(入館は17:30まで) [5~10月]  
9:00~17:00(入館は16:30まで) [11~4月]  
[休館日] 月曜(祝祭日の場合は翌日)、毎月最終火曜(変更あり)、年末年始  
http://www.chuyakan.jp/ chuyakan@c-able.ne.jp

#### B 山口情報芸術センター(YCAM)

〒753-0075 山口市中園町7-7  
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216  
[開館時間] 10:00~20:00(夜間イベントのある日は22:00まで)  
[休館日] 火曜(祝祭日の場合は翌日)、年末年始  
http://www.ycam.jp/ information@ycam.jp

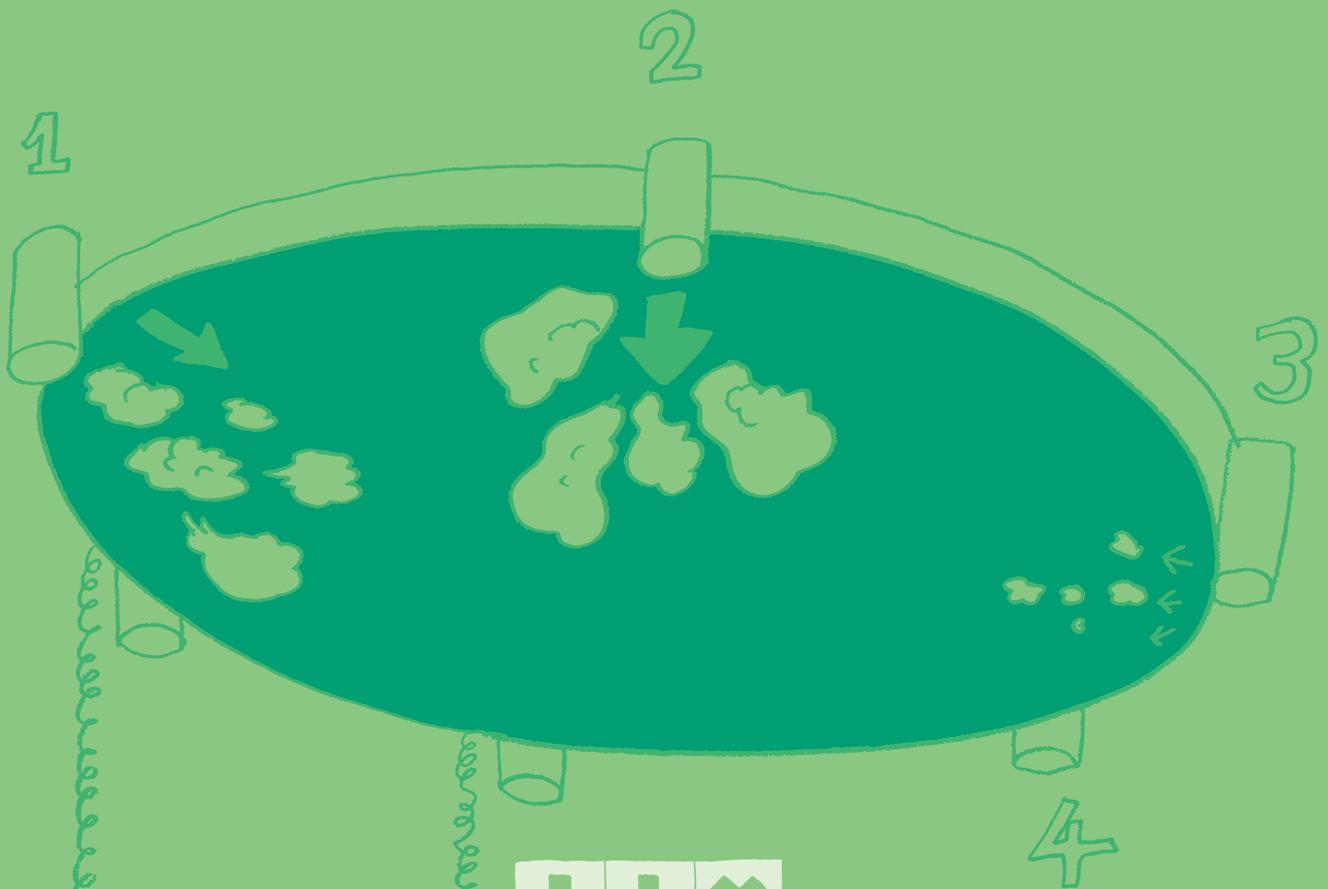
#### C 山口市民会館

〒753-0074 山口市中央2-5-1  
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488  
[開館時間] 8:30~17:15 [休館日] 年末年始  
http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/ shiminkk@c-able.ne.jp

**検定 中** A. ■ 中也兄様 (中也は、中原家の長男であり、中原医院の跡取り息子であったため、両親・祖父母から徹底した家長教育を受けていて、兄弟のなかでも別格だったそうです。)

**観 聴 見** しみんいた! の!

◎映画のアルプスの山々等スケールの大きさがどの様になるのか興味をもっていましたが、舞台ならではの迫力にすっかり魅了されました。(60代女性 ミュージカル「サウンド オブ ミュージック」より)  
◎このイベントに誘ってくれた彼も10/1に晴れて恋人から夫に。結婚式も新婚旅行も決まっていなかった私たちにとって良き思い出になりました。(20代女性 「大友良英 / ENSEMBLES」展ライブ「Networks」より)



財団法人 山口市文化振興財団  
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

